

環境調査結果のお知らせ

平成28年2月19日午前9時半から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温15～17℃、塩分32～33、溶存酸素量7～9mg/lでした。
透明度は6～7mで、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが多数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温15.0～16.7℃、塩分31.6～33.0でした。

前回調査時(H28.1.7)と比較して、水温は全層で0.5～1.0℃下降しました。塩分は全層で0.2～0.4上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.1～8.5mg/lでした。

前回調査時と比較して、溶存酸素量は全層で0.6～0.9mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は5.7～7.0mでした。

検鏡の結果、魚類に非常に有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で2,570cells/ml確認されました。

コクロディニウムは漁業被害が想定される細胞密度を上回っており、養殖漁場に拡散するおそれがありますので、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

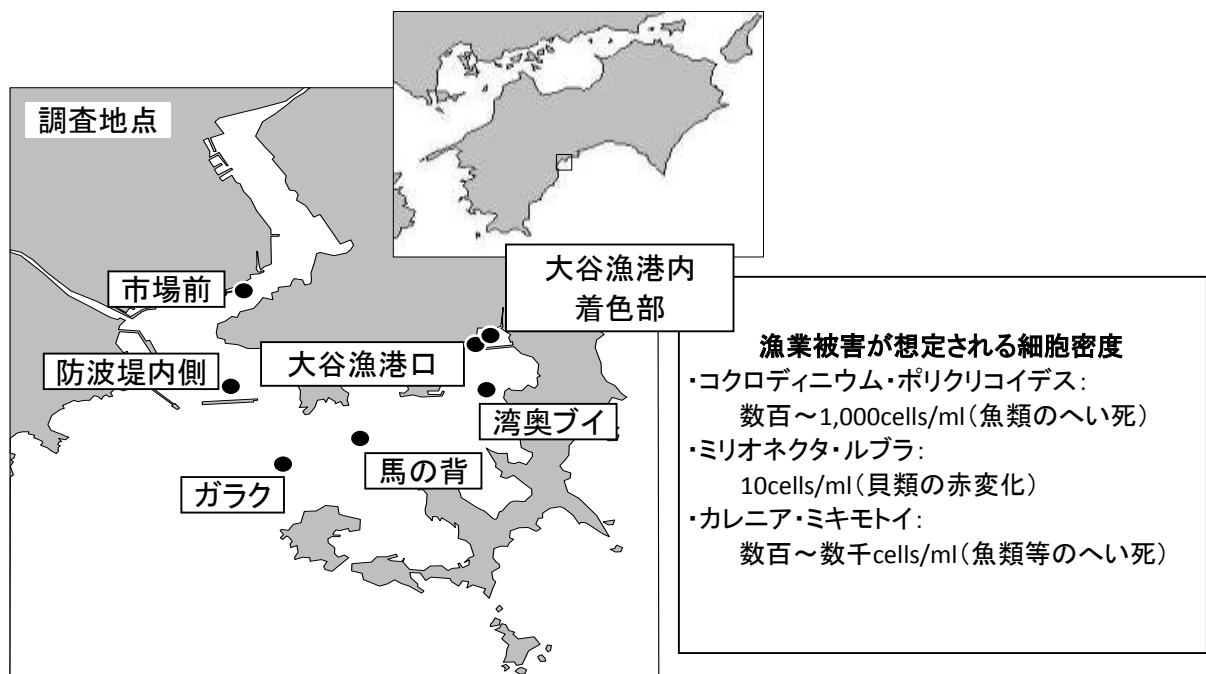


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.1.7)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	16.4	16.0	16.2	15.0	16.2	17.2	▲ 1.0	14.7
2m	16.4	16.1	16.2	15.5	16.2	17.2	▲ 1.0	16.4
5m	16.4	16.1	16.2	16.6	16.2	17.2	▲ 1.0	16.5
10m	16.6	16.1	16.3	16.6	16.3	17.1	▲ 0.8	—
B-1m	16.7	16.4	16.2	16.6	16.5	17.0	▲ 0.5	16.5

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.1.7)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.8	32.8	32.9	31.6	32.8	32.6	0.2	30.9
2m	32.9	32.8	32.9	32.2	32.9	32.6	0.3	32.4
5m	32.9	32.8	32.9	32.8	32.9	32.6	0.3	32.9
10m	33.0	32.8	32.9	33.0	32.9	32.6	0.3	—
B-1m	33.0	33.0	32.9	33.0	33.0	32.6	0.4	32.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.1.7)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.3	8.0	7.5	8.5	7.9	7.0	0.9	8.2
2m	8.2	7.9	7.3	8.4	7.8	6.9	0.9	8.0
5m	8.1	7.8	7.2	8.2	7.7	6.9	0.8	7.9
10m	7.6	7.6	7.2	7.8	7.5	6.8	0.7	—
B-1m	7.1	7.5	7.3	7.7	7.3	6.7	0.6	7.8

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.7	24.6	15.1	13.3	11.3
透明度	5.7	7.0	7.0	6.8	4.0
前回(1/7)	9.6	8.5	10.8	7.0	5.3

表5 プランクトン(cells/ml)

		コクロディニウム・ポリクリコイデス	ミリオネクター・ルブラ	カレニア・ミキモトイ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	4	0	0	1,500
	2m	24	0	0	600
	5m	102	1	0	2,350
馬の背	0m	0	0	0	1,150
	2m	1	0	0	950
	5m	0	1	0	250
ガラク	0m	0	0	0	500
	2m	0	0	0	400
	5m	0	0	0	200
津波防波堤内側	0m	0	0	0	150
	2m	0	0	0	250
	5m	4	0	0	800
市場前	0m	0	1	0	170
	2m	70	0	0	250
	5m	18	0	0	400
大谷漁港口	0m	1,160			
	2m	930			
大谷漁港内着色部	0m	2,500			
	2m	2,570			